

きずな 2018

上川管内公立小中学校事務職員協議会

発行者 広報担当 前畑孝明(名寄東小)

第3号 2018, 7, 24



第129回管内研(名寄大会)が盛会に終わりました

研修テーマ：子どもたちの生活の場を意識した「教育環境整備」
～教育環境整備の「ものの整備・かねの整備」に重点をおきながら～（二年次）

6月28日（木）・29日（金）の2日間、名寄市の「駅前交流プラザよろーな」を会場に、第129回上川管内公立小中学校事務研究大会（名寄大会）が開催されました。



挨拶をする井本実行委員長

1日目の講演では、『おーちゃんといく全盲の旅～写心家がみる風景～』と題し、特定非営利活動法人「ふらっとほーむ」理事長 大平啓朗さんにお話をいただきました。大平さんの着飾らない、ざっくばらんな語り口に、時間が

過ぎるのを忘れるほどの有意義な時間を過ごすことができました。



講演をいただいた大平啓朗さん

その後の個人レポート「子どもとのかかわりについて」では、坂本さん（南富良野中）藤井さん（当麻中）菅野さん（和寒小）に、それぞれの学校規模や校種による子どもとのかかわりについてお話をいただきました。3名のみなさんのご協力に感謝いたします。



左から坂本さん、藤井さん、菅野さん

2日目は、研修部提起の後分散会へと進みました。前夜の懇親会で養った英気もあり、活発な交流ができました。

今回の研究大会の開催にあたり、名寄ブロック現地実行委員みなさんをはじめ、ご協力いただいたみなさんに、あらためて心より感謝申し上げます。



★★ 今年の管内研の分散会内容 ★★

第1分散会

第1分散会は14名の参加で、サッカーW杯日本代表が決勝トーナメント進出を決めた興奮が冷めないうちに、終始穏やかにおこなわれました。

まず直前の研修部提起と全体交流の流れから、検討課題について交流しました。学校間連携については、現状と課題にとどまらず、共同学校事務室についての議論に広がり、活発に交流されました。アドバイザーの上川中学校・門馬さんから、学校事務職員とは何なのか、学校にいて何をすべきか、本州は権限を持たないとすすまない面があるが、北海道は権限云々ではなく、子どもに視点を置いて、協力協働の中で地位を確立してきた。今後国の制度の中に理論が埋没していく可能性がある。5年10年後、それを念頭に置いて今後の学校事務を考えていかなければならない、とありました。



上事協 Web については、アンケート機能の活用や、中央ブロックでとりくんだ、校種(小・中)に分かれた

交流を行うことで、横のつながりが活性化し、仕事へつなげていくことができるのではないかと交流がありました。

個人レポートについての交流では、今回のレポートから、教員と事務職員の違い、という部分が出来て来たことについての交流がおこなわれました。共通理解が必要ではないかという意見が多く、アドバイザーの門馬さんからは、教員だからできる、事務職員だからできないではなく、全教職員で協力して子どもを育てていくことが大切。コミュニティースクールについても、いい意味で地域で子どもを育てていくということに特化すべきではないか。狭い範囲ではなく、広く考えることが必要、とありました。

最後に市町村学校間連携推進計画にて、参加者の各市町村の現状と課題を交流しました。まとめとしてアドバイザーの門馬さんから、今後制度化された中で学校にいて事務職員が何をやっていくかが大事になってくる。基

本的には教育委員会は敵ではない。協議して、出来ないところを一つ一つやっていく。学校事務職員はただ事務処理をするだけでなく、「つかさどる」に変わったということは、地域の中で頑張っていくということだと思う、とまとめていただきました。

個人的には、分散会の司会をもう6回くらい担当しているのですが、全く成長していません。毎回時間が足りなかったり、いまいち盛り上げられなかったりと、みなさんにご迷惑をかけてばかりです。そんな中でも、終わってみれば、やっぱり年に2回、直接顔を合わせて話し合うことは大事なことと思いながら約2時間半の運転しながら帰路に着きました。今後とも多くの方が管内研に参加していただければと思います。

第2分散会

午前中の研修部提起終了後、第2分散会は、中堅からベテランの事務職員を中心に、14名の参加者でおこなわれました。



午前中は、自己紹介後に、研修部提起の検討課題1「学校間連携の定着と発展を目指して」について議論しました。各市町村における、学

校間連携の成果と課題や、設立に至るまでの経緯、さらには、今年度より東神楽町で実施されている「共同学校事務室」の現状について、交流を深めることができました。課題としては、人事異動などの要因による、地教委担当者との認識の相違や、会議の設定時期やシステムの問題などの報告もあり、さらなる定着・発展のとりくみが必要だと思いました。



屋をまたぎ、午後には、参加者の市町村学校間連携推進計画について交流しました。ここでは、PFシートの有効活用や保護者に対し、どのように周知をはかるべき

か。就学援助費の認定・支給時期や各市町村の申請様式の交流、校内備品の整備状況などについても議論することができました。また、第2分散会では、函館市からも参加者がいたため、他管の状況などについても、交流することができました。

終始、活発な議論が展開されたため、とても有意義な分散会になったと思います。ここで得た経験や知識を、市町村や勤務校にフィードバックし、今後の「教育環境整備」につなげることができるよう、私も研鑽に努めたいです。

第3分散会

第3分散会は、12名で交流しました。

前半は、市町村の学校間連携推進計画を交流しました。それぞれの市町村から連携会議や市町村教研の内容や現状を発表してもらい、情報の交流や、現状の課題の改善策を話し合いました。また、学校諸費や就学援助等についての交流も行いました。



後半は、個人レポートの感想と、研修部の提起について交流しました。学校間連携会議の必要性や上事協 Web の活用方法などの意見ももらいましたので、今後の研修に活かしたいと思います。

普段、直接交流する機会の少ない、他ブロックの市町村の様子を知ることができ、また、様々な意見を交わすことで今後の各市町村の取り組みに活かすことができる貴重な話し合いの場となりました。

第4分散会

第4分散会は、採用3年目までの経験年数の少ない事務職員13名の参加（司会者とアドバイザーを含めると15名）でおこなわれました。



午前中は、自己紹介の後、理事から上事協のこれまでの「教育環境整備」および「ひとの整備」のとりくみ（5年分のとりくみ）を1時間程度で説明しました。



午後は、グループ討議として、さらにA・Bの2つのグループに分けて、参加者から代表者を選出しておこないました。各グループの代表者が司会進行していき、事前に参加者から集約した内容について討議しました。スキルアップのために心がけていることや備品等の保管方法、予算要望時に教職員から意見を集約する方法など、活発な意見が交わされました。全体で各グループの討議内容を交流した後、アドバイザーから、「実践しないと伝わらないことがある。子どもアンケートなども、はじめはテストパターンから始め、少しずつその地位を築い



てきた。まずは、行動してほしい。心と体の健康にも気をつけてほしい。やりたくない、面倒な仕事も元気に楽しく取り組むことによって、やりがいが出てくるものである。1つうまくいかなくても、その失敗を次に繋げてもらいたい。」と参加者にエールを送りました。

上川研修センター講座 「学校事務実務」 開催されます！

既に申し込んでいただいた方へ、24日(火)に研修センターから受講通知がFAXで届きます。**一緒に持参資料や事務センターへの質問等についてのお知らせを送りますので、ご確認ください。**

	9:15	9:45	10:05	11:05	12:00	12:45	13:45	14:30	16:25	16:30	
日 程	運 営 委 員 打 ち 合 わ せ	受 付	開 講 式	講義① 「北海道の学校事務について」 (仮題) 樹海小学校 事務職員 藤崎講師	提言と研究協議① 「子どもの生活の場を意識した『教育環境整備』」 土別南中学校 葛西 事務職員 幌加内中学校 原田 事務職員	昼 食	 講義② 説明・演習 「給与・手当について」(仮題) 教職員事務センター 主査 斉藤講師 (旭川市中学校担当)	提言と研究協議② 「事務職員が楽しく生き生きと事務実践を行うために」 旭川緑が丘中学校 谷口 事務職員	分散会「もの・かね的整備のサイクル化」～企画の交流 【A 分散会】 旭川明星中学校 阿部運営委員 旭川啓北中学校 古小高運営委員 【B 分散会】 土別南中学校 葛西運営委員 富良野小学校 小林運営委員	閉 講 式	
				会場：上川教育研修センター／運営委員：富良野小・小林 土別南中：葛西（何かあれば気軽にお問合せください）							

8月6日(月)に上川教育研修センターで行われる「学校事務実務」について、上事協 Web で既にお知らせしていますが、こちらでも改めてお知らせします。

◆**提言と研究協議 ②**
旭川より全道事務研函館大会で発表するレポート

【受付時間】

(8/6) ・ 9:15 ~ 9:45

【講座内容】

◆**講義 ①**

上事協・藤崎会長より、「北海道の学校事務について」の講義です。軽快なテンポで講義をしていただけるということですので、お楽しみに♪

◆**提言と研究協議 ①**

土別ブロックの全道事務研函館大会で発表するレポートです。全道事務研に参加しなかったが、函館は遠くて…断念しました…という方がいましたら是非参加してください。

全道事務研に参加される方も、9月の本番に向けて、研究協議で土別ブロックをバックアップしましょう。

◆**講義 ②**

教職員事務センターより、「市町村立学校手当認定第一グループの斉藤朋恵主査」が講師を務めていただけることになりました。今年度、旭川市の中学校を担当している方です。**事前に質問を受け付けてくれます。31日** 切です。受講案内でご確認ください。

◆**分散会 (A・Bの2つに分かれて)**

上事協検討課題(2)「もの・かね的整備のサイクル化」の今年度の提起、「企画」部分について、職員会議等での提案物を持ち寄り、交流を行います。日頃触れることが少ない他校の実践に触れて、仕事に活かすことができる分散会にしたいと考えています。

※持参資料については、参加者の皆さんへ別途お知らせします。

【駐車場】

研修センターの駐車場は台数が限られています。混雑が予想されます。余裕を持ってお越しください。

【講座の申し込みは直接上川教育研修センターへ！】

定員は35名ですが、毎年定員を超えても受講可能です。なので、まだ間に合います！

参加したい！と思った方は、各校にある研修センター講座の受講申込書を、直接研修センターへFAXしてください。多くの方の参加をお待ちしています♪

『センター講座半端無いて！』と思って頂けるように運営委員一同頑張ります。

第129回管内研の一コマ

